

子どもが育つ環境としての 家族や地域の役割を考えよう

＜子どもが育つ環境としての地域の役割について、専門家に聞いてみよう

～宇都宮市市民生活部男女共同参画課からゲストティーチャーをお招きして、疑問を解決しよう～

家庭や家族、地域の機能や重要性について実感をともなって理解させ、地域社会の一員として進んで子育てにかかわろうとする自覚を育てたいと考えた。そこで、幼児を育てるときの家庭内のトラブル例を設定し、その解決策を考えさせる活動の中で、地域の子育て支援の専門家からの講話を聞かせたり、質疑応答を行わせたりする活動を取り入れて学習指導の工夫を行った。

1. 題材構成の工夫

第3学年において、17時間で扱う題材として、A「わたしたちの成長と家族・地域」に男女共同参画社会、児童福祉、少子高齢化などの視点を加えて題材を設定した。

そして、単に将来の子育てのためや、自分が育てられた過去の経験について考えるだけでなく、自分の生活にかかわりがある事例を通して、現在の自分自身が地域の一員として子どもを育てる役割を担っていることにも気付かせたいと考えた。

そこで、生徒自身が家族や地域の人々から育てられていることを振り返らせ、子どもを育てる環境としての家族や地域の役割を具体的に考えさせるための指導の工夫を行った。まず、題材全体のキーワードを「自分」「幼児」「家族」「地域」として、常に各内容項目が相互に関連性をもって展開できるようにした。そして、ゲストティーチャーによる講話や、ロールプレイング、幼稚園・保育園訪問、観察や意見交換を通じた考えの練り上げなど、体験的な学習を多く取り入れることで、家庭や家族、地域の機能や重要性を理解させ、地域社会の一員としての自覚を育てられる学習指導の工夫を図った。

2. 本題材の指導計画（総時数22時間）

- (1) 自分の成長と家族 ————— 1(1年次のガイダンスを含む)
- (2) 幼児の発達と家族 ————— 5
 - 幼児の発達について知ろう ————— 2
 - 幼児の発達と家族の役割を考えよう ——— 1(本時)
 - 幼児の基本的な生活習慣について知ろう — 2
- (3) 幼児の発達と遊び ————— 6
- (4) 家族の生活と家族関係 ————— 4
- (5) 家庭生活と地域とのかかわり — 2

3. 事前の準備や前時までの学習の流れ

ゲストティーチャーには、事前に授業のねらいを明確に意図した講話を行ってもらえるように十分に打ち合わせを行う(表1)。生徒の学習の様子をふまえて、必要な内容を講話に含むような連携をとるように配慮した。

表1ファミリーサポートセンターとのT-T授業派遣依頼等手順チェック表

No.	内 容	事前期間	実施の有無
1	校内での授業立案、ねらいの明確化		
2	学校長への相談		
3	授業予定日の選定		
4	講師所属長への打診(電話)		
5	打ち合わせ日程の確認		
6	指導案(素案)の作成		
7	講師との打ち合わせ[日程、授業内容]		
8	教務主任との日程の調整、決定		
9	該当学年、学級への連絡		
10	講師との最終打ち合わせ (授業内容の決定、教材等の準備)		
11	授業実施		
12	講師との授業反省		

また、生徒の関心・意欲を高める授業とするための手立てとして、前時までにゲストティーチャーとして共働きの先生から子育ての体験談として、家族や身近な人々への要望などを聞かせ、よりよい子育ての条件を考えさせる(図1)。また、家族だけでは子育てが難しい状況の例を知らせ、ファミリーサポートセンターや地域の子育て支援策の必要性に気付かせながら(図2)ねらいに対する関心を引き出し、本時の学習への動機付けとした。

4. 本時の授業

子育て中の共働き家族のトラブルの解決策を個人やグループでの意見交換、ゲストティーチャーからの講話と質疑応答、さらなる修正案の作成などから考えることを通して、生徒自身が地域の一員として子どもを育てる役

図1 前々時の学習プリント「子育て体験を聞こう」

わたしたちの成長と家族・地域 学習プリントNo.3

3 子育て体験を聞こう。 年組 番氏名

(1) 働きながらおさんを育てている先生から、子育ての体験談を話していただく。

先生のお名前	先生	月	日	()	第	校時
お子さんのお名前						
歳(男の子・女の子)						

子育ての楽しさ

子育ての苦勞

家族への要望

身近な人々へのお願い

気付いたこと・考えたこと・感想

(2) よりよい子育てをするためには、どんなことが必要だろう。

子育てにはこれが必要!!~わたしが考えるより良い子育ての条件~

図2 前時の学習プリント「地域の子育て支援を知ろう」

わたしたちの成長と家族・地域 学習プリントNo.4

4 地域の子育て支援を知ろう。 年組 番氏名

幼児を育てる家族や地域の役割を考えよう

◇子どもを育てるために、中学生の自分が地域の一員としてできることは何だろう。

(1) 宇都宮の子育て支援制度「にこにこ子育て」を知ろう。

資料1 『にこにこ子育て』 宇都宮市公式ホームページ より(抜粋)

http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/mau/old_menu/07_hukusi.htm

子どもの健やかな成長のために	1. 児童の健全育成	幼稚園、児童館、児童遊園、子どもの家、留守家庭児童会、子育てサロン、宇都宮市保健センター、公園・レジャー施設、体育・文化施設、幼稚園位置図、児童館・児童遊園・子育てサロン・公園など位置図、体育・文化施設など位置図、図書館・図書室などの位置図
	2. 保健・医療	妊婦・乳幼児健康診査、健康教室、家庭訪問、予防接種、乳幼児・妊産婦医療費助成、その他の医療給付事業
	3. 手当	児童手当
	4. 相談・支援	健康相談、親子・児童教室、生産学習情報提供事業
子育てと仕事の両立のために	1. 保育	保育園、乳幼児健康支援サービス、子育て支援短期利用事業、ファミリーサポートセンター事業

図3 本時の学習プリント「地域の子育て支援を知ろう」

わたしたちの成長と家族・地域 学習プリントNo.5

4 子どもと家族、家庭のはたらき、地域とのかかわりを考えよう。

(1) ロールプレイングを通して、子どもを育てる家族とのかかわり方を考えてみよう。

陽東さん一家は、夫は石井工務店、妻は峰商事に勤めている共働き夫婦で、2人の子も(小学2年生の陽子ちゃん、4歳の東くん)の4人家族です。

学習の流れ

①自分だったら... それぞれの家族の立場になってセルフを考える。

②その場で演じる 3人のグループでロールプレイングをする。

③アドバイス アドバイザーから意見をもらう。

④解決策を発表 家族とのよりよい関わり方を発表しよう。

【事例】今日は、夫が東くんを迎えに行く日だが、急な残業で行けない...

(2) 子育ての問題点や疑問点、必要な環境などについて、宇都宮市の男女共同参画課やファミリーサポートセンターの方に質問しよう。

(4) 子どもが育つ環境として、家族や地域はどんなことが必要だろう。何をすればいいだろう。

わたしはこう考える!!

割を担っていることを実感を伴って考えられるように展開を工夫した。また、教師が活動の見取りを行いやすいように、あらかじめ評価基準付き座席表を作成したり、修正案を赤マジックで記入させたりすることで、個人やグループの学びの変容や深まりを見取り、助言や指導に生かせるように工夫した。(表2、図3、図4)

5. 研究の成果と課題

一連の授業を通して、生徒からは「夫と妻が協力して子育てを行う方が良い。」「地域の親子に会ったら自

表2 本時の学習指導案(概要)

学習の流れ	単	指導上の留意点	類・類
学習課題の提示	2	・前時までの共働き家族の増加や妻の家事と子育て、仕事に対する意識の変化、子育て体験談や地域の子育て支援からわかった内容をふまえて学習課題への意欲付けを行う。 学習課題 子育て中の共働き家族のトラブルを解決しよう	学習カード
家族の立場になってトラブルを解決しようI	10	・トラブルを解決するために必要な家族や地域の人々とのかかわり方を、提案、相談、決定の順に具体的に述べさせる。 評価項目1(工) 夫と妻の立場を考えながら、子育て中の家族のトラブルを解決する方法を考えることができる。 A 家族だけでなく、身近な人々や地域の協力を得ながらトラブルを解決する方法を考えたり、家族や地域の問題点に気付いたり	子育てトラブル事例 セルフ検討 紙出し 評価表 付き座席表 解決策 カード 襷黒板 黒マジック
ファミリーサポートセンター職員の講話とQ&A	10	・共働き家族の増加などにより、家族だけでは子育てが難しい場合は、地域の支援が必要であることに気付かせて、講話への意欲付けとする。 ・穴埋め式のリーフレットにキーワードを記入させながら講話を聞かせ、取り組みや活動内容を理解させやすくする。 ・ファミリーサポートセンターの利用法についての質疑応答を通して、地域の支援を活用した子育てを考える手がかりにさせる。 ◇費用 ◇利用時間 ◇会員数や利用者数 ◇地区内の利用状況 等	ファミリーサポートセンター穴埋め用紙 援助の流れ図 質問カード
家族の立場になってトラブルを解決しようII	5	・一度考えたトラブル解決策に検討を加えさせることで、地域の子育て支援策や身近な人々の協力を得ながら子育てを行う方法を具体的に考えさせる。その際、家族や地域の人々とのかかわり方のマナーについても考えられるよう助言する。 ・考えの変化や工夫した点を見取れるように赤マジックで訂正を記入後発表させ、学びを共有	赤マジック 初イボード
宇都宮市の子育て支援	10	・子どもが育つ環境としての地域の取り組みを、男女共同参画課の職員の方の説明を通して、具体的に知らせる。 ・今までの学習内容をふまえて、宇都宮市の子育て支援策の利用方法や取り組みの良さや改善点、自分ならどう活用するか、中学生としての幼児への接し方を考えさせる。 ・生徒自身が家族や地域の人々から育てられていることを振り返らせ、地域一員とし	
子どもが育つ環境としての家族や地域の役割	5		

分から声をかけていきたい。」など、家族や地域の一員として次の世代を育てる自覚のみられる発言が得られた。今後も、ゲストティーチャーとして専門家を活用した授業実践を通して、生徒の意識を高めていきたい。

図4 本時の授業風景

